

uM350R IEEE802.11ah導入事例① 【LTE不感地帯の対応策】

LTE電波が届かないところをuM350Rを活用し「データ収集」や「遠隔制御・監視」を実現

■お客様の課題

地下に設置された監視対象装置までLTE電波が届かず、センター側での装置データ収集や遠隔制御・監視が困難。

■対応策

WAN側LTE通信と、LAN側IEEE802.11ahの機能を具備したuM350Rを活用。

LTE不感地帯（LTE圏外：監視対象装置～LTE圏内：uM350R）の通信にIEEE802.11ahを使用することで、受信データをLTE経由で送信可能とした。これにより、お客様センターでのデータ収集、遠隔制御・監視を実現する事ができた。

